

# はあとめっせーじ



第52号

発行／山梨県看護協会中北地区支部  
発行責任者／市川 美生  
印刷／有限会社 クリップ



支部長あいさつ

## はあとめっせーじ発刊に寄せて

独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 市川 美生

今年度より中北地区支部の支部長となりました市川美生です。会員の皆様には日頃より地区支部の活動へのご理解、ご協力をいただき心より感謝を申し上げます。

また新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、看護職が感染者の入院受け入れや宿泊療養施設での対応をはじめ、コロナワクチン接種対応など感染拡大防止対策など日々住民のいのちや健康を守るための活動を続けてこられたことに心より感謝を申し上げます。

令和3年度中北地区支部通常総会および記念講演が5月20日(木)に開催され、今年度の地区支部活動が開始されました。昨年度の経験を踏まえながらコロナ禍であっても看護職が必要とする学習環境を整えられるようにと計画に基づき研修会開催に向け準備をしてきました。しかし、WEBでの研修会開催が行えるまでの技術面を含めた準備を整えることができず、残念ながら研修会を開催に至らず大変申し訳ありませんでした。次年度は、WEBでの研修会にも対応できるように準備をすすめるとともに、看護職の連携強化が図れるように活動をしていきたいと思っております。今後とも中北地区支部の活動へのご協力をお願いいたします。

## Contents

支部長あいさつ	1
看護功労者・県民の看護師さん受賞者紹介	2~3
中間管理者研修・退院支援マネジメント推進研修会	3
施設紹介	4
ペンリレー	4
編集後記	4

# 受賞おめでとうございます。

中北地区支部から令和3年度看護功労者11名、第26回県民の看護師さん4名の方々が受賞されました。昨年に引き続き山梨県看護大会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりましたので、受賞された方の中から了解を頂いた方をご紹介します。

## 令和3年度看護功労者

### 支えてくださったすべての方に感謝をこめて

昭和町役場

戸倉 由紀



この度の受賞にあたり、これまで保健師活動を通して出会い、沢山のご指導やご支援を頂いた全ての方々に心より感謝申し上げます。この喜びをかみ締めるとき、まず思い浮かんだのはこれまで出会った多くの町民の皆様のお顔で、一人ひとりが私にとっての師です。そして、職場の皆さま、家族の支えにも感謝しかありません。コロナ禍で業務が一変し、時間に追われ心が折れそうになる日もある中で、今回の受賞は、初心に帰り、苦勞を分かち合える仲間と共に、今後でもできる限りの力を尽くそうと思わせてくれました。本当にありがとうございました。

### 看護功労者知事表彰を受賞して

甲府市役所

小田切 いのり



今回の受賞は身に余る光栄であり、支えてくださった周囲の皆様と家族の協力に感謝申し上げます。

これまで、様々な部署に配属され大勢の方と出会い、多くの学びがありました。その一つ一つに感謝しつつ、頂いた賞に恥じぬ様、今後の仕事に活かしていきたいと思っています。

### 看護功労者知事表彰の受賞を受けて

耳鼻咽喉科アレルギー科  
まつざきクリニック

秋山 三和



この度は、看護功労者として表彰を頂き、大変嬉しく光栄であります。これまでに多くの出会いに恵まれ、家族を始め、支えて頂いた皆様に心より感謝いたします。

今までの長い時間を小児に携わり、病に真摯に向き合う姿に学び、励まされてきました。その経験が、今の自分の基盤にあると改めて感じています。現在は、地域の幅広い年代の方に寄り添い、安心できる看護を目指し励んでいます。これからも看護に誠実に向き合い、努力していきます。

### 看護功労者知事表彰受賞に感謝を込めて

山梨大学医学部附属病院

中嶋 君枝



誰かの役に立ちたいと思い看護師になりました。新人の頃からターミナルケアに興味を持ち、今緩和ケアに携わっています。沢山の患者様・ご家族、関係者に導かれ、今の私が在ります。今回の受賞はその方々からのご褒美だと思えます。

「最期までその人らしく生きることを支える」今後も誠実に専心的に看護に取り組んでいきたいと思えます。

### 看護功労者知事表彰を受賞して

山梨大学医学部附属病院

古屋 塩美



今回、看護功労者として表彰頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

看護学校卒業後、山梨医科大学医学部附属病院に就職して35年、多くの方と出会い、ご支援頂いたことで看護師を続けてこれたと感じています。

今後も、少しでも患者さんやご家族の思いに寄り添える看護が提供できるよう努力していきたいと思えます。

### 看護功労者知事表彰を受賞して

市立甲府病院

浅松 明美



看護功労者知事表彰の受賞を頂き感謝申し上げます。地味で何の取り柄もない私が看護師を目指した15歳の春。初志貫徹をモットーに37年。職場の皆様、家族には感謝しきれません。

この間、患者経験・入院も何回かして、患者の気持ちも良くわかりました。患者、家族の些細な言動に耳を傾け、限られた時間の中でどう生きたいかを一緒に考え、寄り添った看護が出来るように今後も努力して行きたいと思えます。

### 患者さんの最善を考え続けて

地方独立行政法人山梨県立病院機構  
山梨県立中央病院

一瀬 貴子



受賞にあたり、看護を通じて出会い、支えて下さった全ての方々に感謝申し上げます。就職してからずっと、仲間と共に、患者さんの最善を考え探求する時間を大切にしてきました。

互いの限られた判断能力を補い、新たな思考を与えてくれるカンファレンスの楽しさを継承し、看護を語り合う組織文化の醸成に努力してまいります。

### 看護功労者の受賞を受けて

社会福祉法人園樹会  
向徳舎

塩沢 静子



この度看護功労者として大きな賞を頂き、ありがとうございました。

長い間看護師として働くことができたのは、職場の皆様や、家族の支えがあったからと感謝しております。

障がい者施設で何が出来るのか、悩んだ時期もありました。助産師時代からの、「目で見て手でケアする」ことを続け、言葉のないコミュニケーションで新しい発見に驚き、喜びとなっています。

この賞を頂いたことで、さらにより良い看護に努めていきます。

### 看護功労者知事表彰を受賞して

社会福祉法人いきいき倶楽部  
コスモグループ

志村 節子



この度は看護功労者知事表彰を頂きありがとうございます。

思いがけないご褒美と大変嬉しく思うと共に、これも自分一人の力だけでなく、全スタッフの協力があったこそだと感謝しております。

亡き父に勧められ看護師となり、病院勤務を経て施設看護師として立ち上げに参加し、現在はデイサービスで働いています。

利用者様が「ここに来て良かった。」と思える笑顔の絶えない施設を目指し、利用者様に寄り添った看護ができるよう励んでいきたいと思えます。

## 第26 回県民の看護師さん

## 感謝の気持ちをこめて

甲府城南病院

中澤 緑



この度は、看護功労者知事表彰という身に余る賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。

看護師としての仕事を通し、これまで数えきれないほどたくさんの方々と出会い、多くのことを教わり、良い経験をいたしました。なかでも、患者様との思い出は私の心の中で宝物となり、今日の私を作り上げています。人との繋がりを大切に、今後も看護の仕事に精進して参ります。

## 「県民の看護師さん」の受賞を受けて

市立甲府病院

鶴田 文美香



この度「県民の看護師さん」の表彰を頂きましたこと誠に感謝申し上げます。私は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、家族や職場の協力を得て北海道の病院支援に行きました。1日でも早く感染が終息しすべての皆様に元気と笑顔が戻る事を切に願ひ、これからも看護支援室の看護師としての役割を果たすため勇往邁進する所存です。

## 「県民の看護師さん」受賞に際して

山梨大学医学部附属病院

窪川 佳世



表彰いただき誠にありがとうございます。感染管理認定看護師として、COVID-19 のパンデミックを経験するなかで、院内外の多くの方に出逢うことができ、いろいろな事を学ばせていただいています。防護具が不足した際のご支援や心温まる応援メッセージに大変救われました。私が看護師として活動できることは、各部署の皆様、よき同僚や後輩、上司に恵まれ、院内外の多くの方のご指導、ご支援のおかげであると心より感謝申し上げます。これからもより一層精進してまいります。

## 「つながりに感謝」

公益社団法人山梨県看護協会

ゆうき訪問看護ステーション

並木 奈緒美



訪問看護ステーションに勤務して 26 年が経ちました。訪問看護の仕事を通して様々な機関の看護職の皆様や多職種の方々となることができました。多くの皆様とつながることができたことにより、訪問看護に沢山の力を頂いてきたと実感しています。今回の受賞は皆様とのつながりの賜物だと心より感謝申し上げます。

## 「開かれた感染対策室」を目指して

地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

高取 美香



この度は、「県民の看護師さん」の受賞を賜り、身に余る光栄です。

今回の受賞は、山梨県立中央病院として、病院全体が一つのチームとなり、新型コロナウイルス対策をはじめ、院内及び地域の感染対策に取り組んできた賜物だと思っております。ご指導・ご支援いただいたすべての方々に感謝申し上げます。

この賞に甘んじることなく、今後も「開かれた感染対策室」を目指し、院内外から気軽に声をかけていただき、活用していただける感染管理認定看護師を目指し、精進して参りたいと思います。

## 「県民の看護師さん」受賞を受けて

公益社団法人山梨勤労者医療協会

甲府共立病院

和知 えり子



受賞にあたり、看護を通じて出会った方々、同僚・友人・家族から声をかけていただき、あらためて仲間と共に歩んできた過程をふりかえり、みなさまに支えられ今があると感謝の気持ちでいっぱいになりました。

医療安全分野に関わる中で、地域で暮らす患者さんが、心から安全で安心してかかれる病院を目指し、よりよい医療・看護が提供できるよう、病院や山梨の安全文化醸成に貢献できるように、より精進し務めてまいります。



## 山梨県看護協会中北地区支部研修会

今年度研修会やイベントを企画しましたが、すべて中止となったため、経過を報告します。看護師確保のために中北地区支部の高校に「看護のシゴト」のパンフレットとカットパンを配布しました。会員の皆様へ会費の還元としてボールペンを送らせて頂きます。次年度はぜひこのボールペンを持って研修会にご参加ください。

## 中間管理者研修について

中間管理者研修は医療機関と地域の連携をはかるため、それぞれの施設役割等の情報交換を行い今後の自施設での実践方法を考える機会として開催されております。参加者は主に看護師長や主任の方で毎年活発な意見交換が行われていました。研修での講師の先生の言葉やグループワークでの現場の生の声を聞くことで、明日からの活力を見出された方も多いかと思います。しかしながら、このコロナ禍において集合研修やグループワークが困難な状況が続いています。リモートでの研修も慣れてきましたが、またいつかface to faceでのグループワークができる日を期待しています。

## 退院支援マネジメント推進研修会について

山梨県看護協会中北地区支部では退院支援マネジメント推進の為の研修会を、山梨県立大学看護学部 在宅看護分野の泉宗先生のご協力のもと開催し、好評をいただいております。山梨県看護協会より発刊された「在宅で安心してその人らしく暮らすことを支える手引き」を活用した令和元年度の研修では「事例を用いての研修で大変良かった」との声が聞かれました。その後も継続して退院支援マネジメント推進研修会を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、大変残念ではありますが、2年連続で中止することとなってしまいました。

そこで、研修に代わる活動として、今年度は看護連携についてのアンケートを実施させていただくこととしました。アンケートの結果については次年度の研修会を通じ皆様と共有させていただき、退院支援の輪が広がるように活かしていきたいと考えております。



## 施設紹介

今号では、令和3年に開設された  
山梨大学医学部附属病院の総合支援部を紹介します。

### すべての患者さんに安心を

山梨大学医学部附属病院 総合支援部 穴水 美和

総合支援部は、入退院を支援する入退院支援センター、あらゆる相談に対応する医療福祉支援センター、患者さんだけでなく職員の業務支援を行う業務支援センターの三本柱で令和3年に開設しました。

当部署には17人の看護師が配置されており、「患者さん・ご家族の抱える不安の軽減、身体的・社会的・心理的問題を解決するための援助、患者さんの意志を尊重した在宅医療の推進など、総合的な医療サービスを提供すること」を目的に、院内外の方々と連携させていただいています。

令和2年度は約600件の転院支援、400件の退院調整、また、外来患者さんの支援も積極的に行いました。今年度は更にたくさんの患者さんへの支援を行っています。中北地区支部の皆様にも大変お世話になっています。

「すべての患者さんに安心を」は当院の理念です。かかわるすべての患者さんに安心を提供できるよう、積極的に多職種協働を推進していきたいと思えます。皆様、今後ともご支援ご協力お願いいたします。



山梨大学医学部附属病院  
住所：中央市下河東1110  
TEL：055-273-1111

### 「笑顔とユーモアで看護を楽しむ」

甲府城南病院

齋藤 今日子



「元気で愉快だね！」患者さんからよく言われます。笑顔で接すると笑顔が返ってきます。特に認知症看護認定看護師になってからは、より意識して馴染みの関係が築けるように工夫し、私の得意なユーモアを交えて話をします。

先日、認知症がある患者さんとトイレに行きました。ガスがたくさん出た時に「こりゃヘンデル（屁が出る）童話だ！」と笑った表情を初めてみました。そのユーモアと笑顔に、私自身が癒されました。それからは、「ヘンデルさん！」と二人で笑い合い、関係を構築しています。リハビリ看護でも五感を活用した快刺激が大切とされています。ユーモアには不安や緊張を解きほぐし、心と身体の健康を守るという大切な役割があると考えています。歌ったり、踊ったり…その人の興味のある笑いで自然治癒力を高める看護を行いたいと常に思っています。私の病棟は笑い声に溢れています。

私らしい看護実践ができるのは、認めてくれる仲間がいるからだと思えます。感謝の気持ちでいっぱいです。笑顔をありがとう！



### 「キャリアアップした手術室看護師としての役割」

市立甲府病院 古屋 晶己



【手術室の看護師】と聞くと、「メスを渡す人」のイメージが強いのと思いますが、実際は何をしているのか、患者や家族、同職種である病棟看護師にもわかり難いのではないかと思います。手術室看護師は、患者・家族に安心して手術を受けてもらえるよう情報の提供や指導を行い、二次的合併症を起こさないように安全に留意して看護を行います。私は今、手術看護認定看護師として手術看護が手術室の中だけで完結しないよう、術前の外来受診の段階から手術室看護師が関わり、周術期看護として連携できるシステムの構築をしています。また、コロナ禍で家族面会が制限される中、家族と関われるのは外来時に限られてしまいます。術前は禁煙や休薬など家族の協力が必要不可欠であり、家族も手術チームの大事な一員となります。

患者や家族が安心・安全に手術が受けられるよう看護の質向上を目指し、また、手術室スタッフにも術前からのリスク評価の視点が養えるとともに、周りに手術看護を知ってもらえるような広報活動を目指していきたいと思えます。

### 編集後記



昨年に引き続き今年度の会報委員会もリモート会議で行いました。昨年よりは、パソコンの接続やリモート会議での意見交換等、活発に行えるようになってきました。様々な研修を企画していましたが、集合研修が難しい状況のため、リモートでの研修も検討しました。リモートでの研修ですと、リモート環境が整っている病院や施設は良いのですが、接続の難しい方もいらっしゃるため、今年度はすべての研修が延期となりました。

次年度は、多くの皆様に参加していただけるような研修を企画しますので、是非ご参加下さい。笑顔いっぱいの皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

### 編集委員

山梨大学医学部附属病院	竹田 礼子
甲府共立病院	伊東 知子
市立甲府病院	渡邊 清美
山梨県立中央病院	浅川よし子
甲斐市役所	畑 菜月

